

福祉ちば

No.151

2011.1.31発行

地域の福祉、
みんなで参加

赤い羽根
共同募金



- 題名／冬景色
- 作者／田口 陶美子(白井市)

「第39回千葉県身体障害者作品展示会」にて千葉県社会福祉協議会長賞を受賞した作品です。この作品展示会は県内の身体障害者の作品を公開展示することで広く県民に日頃の精進を理解していただくとともに、障害者自身の積極的な自己表現の場を提供することを目的に開催されています。平成22年度は11月9日(火)～12日(金)に千葉中央コミュニティセンター6階ホールにて開催され、252作品の応募がありました。

目次

P2～3 特集「地域で生きる・参加する・実践する」—— 地域の安全は地域で護る!! 私たちの緊急・災害時対策

P4～5 えーるちば

いざという時の大きな連携が実現! —— 千葉県社会福祉協議会と県内54の市町村社会福祉協議会が『災害支援協定』を締結!!

P6 地域のつながりと地域福祉に関する県民意識調査の結果概要

P7 情報 FLASH 公益信託 京葉銀行ホームヘルパー助成基金 / 平成22年度福祉のしごと合同説明会 in いちかわ / 子育てフェスティバル2011 / 社会福祉施設経営相談

P8 わたしたちの社会貢献活動 —— 株式会社 京葉銀行 「京葉銀行ホームヘルパー助成基金」ほか

特集「地域で生きる・参加する・実践する」 地域の安全は地域で護る!!

私たちの緊急・災害時対策

いざという時、大切な役割を担うのが、地域レベルでの緊急・災害時対策です。そこで今回は、地域で取り組んでいる、緊急・災害時の対策をご紹介します。

湖北台三丁目福祉の会(我孫子市)

災害時、高齢者を助ける2つの「情報」

現在、高齢者（65歳以上）が39%という、我孫子市の湖北台三丁目地域。高齢者の方々の「いざという時に不安……」との声に、「湖北台三丁目福祉の会」は、「救急医療情報キット」と「災害時支援希望者登録制度」という、2つの取り組みで応えました。



左から、同会の仁藤啓子さん(民生委員)、宮越基会長、大洞聡さん

●地域住民の声から生まれた2つの取り組み

「湖北台三丁目福祉の会」は、我孫子市の湖北台三丁目地域の福祉推進を目的に、様々な活動を行っているボランティア団体です。

湖北台三丁目地域は現在、高齢者（65歳以上）が39%にも達しており、「緊急時や災害時に不安……」という声が、以前から数多く聞かれたため、同会は平成21年9月、湖北台三丁目自治会館に、我孫子市役所から担当者を招き「防災講座」を開催。そして受講後、「支援の手が及ぶまでの間は、ご近所同士の助け合いで乗り切れない」との結論に至りました。同会は「防災講座」開催後にアンケート調査を実施。アンケートには143世帯もの回答が寄せられました。その中で「ご近所の緊急避難」「避難所の運営」に手を貸しますという回答が78%あったものの、「日常の病気等の緊急時の不安がある」が68%、「災害時緊急避難に手を貸してほしい」が14%ありました。それを受けて取り組んだのが、「救急医療情報キット」と「災害時支援希望者登録制度」です。

●消防関係者からも歓迎の声「救急医療情報キット」

「救急医療情報キット」(以下、キット)とは、半透明の筒状の容器の中に「救急医療情報カード」「薬剤情報提供書」「診察券のコピー」等を入れた物で、通常は冷蔵庫に保管する決まりになっています。

同会はこのキットを導入するにあたり、事前に我孫子市消防本部に出向き、その趣旨を説明し理解と協力を得ているため、119番通報により駆けつけた消防関係者は、訪れた家の玄関扉の内側に、キットが備えてある事を示すステッカーが貼ってあった場合、冷蔵庫に保管されているキットの情報を元に、かか



りつけの病院や持病の有無、そして緊急時の連絡先等、様々な情報を素早く把握し、救出・搬送に役立てる仕組みとなっています。

このキットは、福祉の会会員がシールの印刷、貼り付けを自ら行い、わずか350円で提供しており、137世帯に備えられ好評を得ています。

また「救急医療情報カード」は、毎年1月に更新を行う事になっており、その機会を見守り活動の一環として役立てています。

●災害弱者の心強い味方「災害時支援希望者登録制度」

「災害時支援希望者登録制度」は、地震や火災等の大規模災害発生時、「自力での避難が困難、または不安があるため支援してほしい」と希望される方を、予め「災害時支援希望者登録名簿」(以下、名簿)に登録しておき、災害時にはこの名簿を元に、同会として可能な限りの支援を行う他、いざという場合は登録した内容を警察や消防等、関係各機関に提出し、協力依頼する事を了承する内容となっています。この名簿には現在8名が登録されています。

「我々は警察でも消防でも無いため、出来る事は限られていますが、「いざという時に様子を見に来てくれる人がいる」という安心感は、とても大きいと考えます」と、役員の方は言います。登録者からも「(名簿に)登録してあるので、安心で心強い」との声が聞かれます。

またこの名簿も、「救急医療情報カード」と同様に毎年更新を行うため、それが見守り活動に繋がることにも大きな役割を果たしているそうです。

同会はこの「救急医療情報キット」と「災害時支援希望者登録制度」が、より多くの地域に広まる事を強く希望しており、導入を検討される場合、「資料もデータもノウハウも、喜んで提供いたします」とのことです。

■連絡先/我孫子市湖北台三丁目福祉の会
我孫子市湖北台三丁目19-1
会長 宮越 基 (電話04-7188-0307)

匝瑳市社会福祉協議会

いざという時に安心の「あんしん箱」

緊急時や災害時等、誰もが何をどうしたら良いかわからない? という状態に陥る可能性が高くなります。それが高齢者であればなおさらのこと。そこで、「緊急時はこれを持ち出せばOK!」という、匝瑳市社協が取った対策が「あんしん箱」です。



「あんしん箱」を手に木野事務局長(左)と地域福祉班の清藤伸さん(右)

●緊急・災害時に持ち出せる「あんしん箱」

匝瑳市社協では平成22年8月末から、1人暮らしで70歳以上、ご夫婦共に75歳以上の高齢者を対象に、「あんしん箱」を配布しています。

これは、高齢者の方が急に入院が必要となった場合や、災害等が発生した際に、必要となるであろう着替え等の日用品を予め入れておき、すぐに持ち出せる様に準備しておくための箱で、「いざという時に安心」と、利用者から好評を得ています。

●消防関係者も活用

「あんしん箱」本体は、被せ蓋方式の小型ダンボール箱で、箱の表側には大きな文字で「あんしん箱」と印刷され、反対側には洋服、肌着、寝間着、洗面用具等、入院時に必要となるであろう品々の項目が印刷されています。蓋の裏側にはクリアファイルが貼り付けてあり、そこには住所・氏名、かかりつけの病院、緊急連絡先、担当の民生委員等を記す、「緊急連絡カード」が入れられる様になっています。



匝瑳市社協は「あんしん箱」導入にあたり、事前に地元の消防署に足を運び、事業趣旨を説明し協力要請を行いました。そのため、

緊急時、通報者の自宅に救急隊員が駆けつけた際、部屋に「あんしん箱」がある事を示すステッカー(電話の傍等、目立つ場所に貼る様に指導)が貼ってあった場合、救急隊員は「緊急連絡カード」から必要な情報を得て、救出や搬送に役立てるというシステムがすでに構築されています。

●見守り活動にも貢献

匝瑳市社協は、この「あんしん箱」が緊急・災害時だけでなく、見守り活動に繋がるツールとなる事を、大いに期待していると言います。

匝瑳市社協ではこの事業を開始するにあたり、配布数を把握するために、平成22年の春から夏頃にかけて、民生委員の方々に高齢者の実態調査を依頼。匝瑳市社協では当初、市役所のデータを元におよそ300名程と考えていました。しかし、実際に上がってきた数字は900名を超え、最終的には1,031戸に配布する事に。この数の違いには匝瑳市社協はもちろん、民生委員の方々も驚きました。

「これがきっかけで、高齢者の方々の数を正確に把握する事が出来ました。酷暑と叫ばれた去年(平成22年)の夏に、1軒1軒歩き回って調べてくれた、民生委員の方々に心から感謝します」と、木野男事務局長。

●配布後のケアが大切

匝瑳市社協は「あんしん箱」の今後について、「予算が許せば、コップやスリッパ等を入れてあげたいですね。そして、防災・安全関係のパンフレット等も入れ、高齢者の安全を守るツールとしても、利用したいと考えています」と、地域福祉班の清藤伸さん。

そして何よりも「緊急連絡カード」の更新や、正しく使用されているかどうかの点検等を通じた、見守り活動に役立てたいと言います。

「あんしん箱は配って終わりではありません。あんしん箱を通じてのその後のケアが、何より大切だと私達は考えています」と、木野事務局長が語る様に、匝瑳市では今後、緊急・災害時はもちろん、見守り活動にも「あんしん箱」が大活躍するでしょう。

民生委員・児童委員発

災害時一人も見逃さない運動

流山市東深井中学校地区社会福祉協議会
会長 大野トシ子さん



地域の民生委員も「民生委員・児童委員発 “災害時一人も見逃さない運動”」として自然災害に備えた取組みを展開しています。

流山市東深井中学校区では、見守りや支援を必要としている高齢者や障害者がどこにいるのかを把握するために定期的(毎年1月に更新)に災害時要援護者・見守り支援希望者調査を実施しています。調査結果は台帳に取りまとめています。また、住宅地図に色分けして記入され、すぐに役立つ緊急連絡網も作成し、いざという時に備えています。また、目的外に使用しないこと、守秘義務を守ることを条件に必要時には行政、自治会、警察、消防署等の関係機関とこの情報を共有することの同意を得ています。

さらに、地図上に記入することでこれまで気づかなかった地域の状況に気づき、民生委員同士の結束を強めるよいきっかけになりました。

この取組みを通じて、毎年内容を確認することで地域の方の顔を見る大切な機会にもなり、「大変心強くありがたい」という言葉を多くいただいています。

また、災害時に係わらず日常生活課題を解決するために役立つこともあります。

いつどのような災害が起こるかわかりません。いざという時には民生委員も要援護者となるかもしれません。お互い助け合える関係を築くためにも日頃から顔の見える地域づくりが必要です。今後、若い世代の方にも民生委員・児童委員の活動にご理解いただき、地域の関係機関とともに協力して「安全で安心して暮らせるまちづくり」に取り組んでいきたいと思っています。

こんな事例もありました

地区内のあるお宅に蜂の巣ができ、近所の方は大変困ってしまいました。そのお宅に住んでいた方は施設に入所され、空き家となっていました。消防署に相談しても家の所有者の了解なく蜂の巣の駆除はできないと言われてしまいました…。

そんな時、この情報が活躍したのです。以前そのお宅に住んでいる方からもらっていた情報を頼りにその方の親族に連絡を取り、蜂の巣駆除の了解を得ることができたのです。



いざという時の 大きな連携が実現!

千葉県社会福祉協議会と県内 54 の市町村社会福祉協議会が『災害支援協定』を締結!!

平成22年11月12日(金)。千葉市内にある「ホテルポートプラザちば」(2Fロイヤル)に於いて、千葉県社会福祉協議会と県内54の市町村社会福祉協議会による、『災害支援協定締結式』が行われました。同協定の締結により、今後、県内で地震や津波等の大規模災害が発生した際、すべての社協が協力・連携し、迅速かつ円滑に支援活動を行うことが可能となります。県内の市町村社協代表者が一堂に集ったのははじめてのことで、集まった約120名もの関係者は、誰もが喜びの表情を見せていました。



協定書を取り交わす県社協早川恒雄会長と千葉市社協高梨茂樹会長

千葉県社会福祉協議会と市町村社会福祉協議会における
災害時の相互支援に関する協定締結式



●『災害支援協定』とは

同協定は災害発生時、県社協と協定を交わした県内54市町村社協が、被災地の社協等に設置されるであろう、ボランティアを中心とした支援活動をバックアップするためのもので、具体的には「緊急連絡網の整備」「所定の手続きに沿った相互派遣」「災害ボランティアセンターの設置・運営支援」「要援護者の実態把握や緊急的福祉サービスの提供」「関係諸団体間の連絡調整」等を、互いに補完し合う内容となっています。

被災地及び被災者支援に於いて、数多くのメリットがある同協定ですが、特筆すべきは「支援速度の向上」及び、「支援者数の増大」と言えます。被災地に隣接する市町村

の社協が、短時間で支援行動に入れるため、素早い対応が可能となるでしょう。また、「すべての社協の協力が得られるため、支援者数も大幅に増える事が予想されます」という、多くの関係者の言葉がその事実を裏付けています。

●締結はスタート、今後の展開が大切

締結式は、県社協の早川恒雄会長の挨拶から始まり、冒頭、今回の協定の締結にあたり、市町村社協の協力に感謝の言葉を述べました。そして近年、日本各地で起きた大規模災害の実例を挙げながら、同協定の重要性・必要性を強く訴え、最後に「災害支援協定は締結したものの、それで終わりではない。今後は、定期的に連絡会や勉強会を開催するなどし、(協定を)より実りあるものにしな

ければならない」と述べ、挨拶を締めくくりました。

続いて県健康福祉部・健康福祉指導課調整指導室の佐川宏之室長が、来賓を代表して挨拶を行い、次に、県総務部・消防地震防災課の布施高広課長が、『災害支援ボランティア活動に期待すること』と題した講話を行った後、祝電が読み上げられました。

そして、県社協の早川会長と、市町村社協を代表して、千葉市社協の高梨茂樹会長が協定書を取り交わし、会場には大きな拍手が鳴り響きました。

最後に、出席者全員が協定書を手に記念撮影を行い、締結式は無事終了となりました。

Voice

『災害支援協定』締結の感想を伺いました。

県内の市町村社協がひとつになった記念すべき日!

伊与久美子
(市川市社会福祉協議会会長)



まず、今回の協定の締結を実現させた、県社協の努力に敬意を評します。そして今日は、県内すべての社協がひとつになった、記念すべき日と言えるでしょう。

この協定の締結により、行政と民間の隙間を埋めるといふ、社協の存在感がさらに強調され、その役割は今後さらに明確となるでしょう。

また、これまで独立していた市町村社協の枠が取り払われ、災害時はもちろん平常時にも、あらゆる場面で社協間のネットワークによる、迅速な対応が可能となるでしょう。これにより、この協定の有効性が証明され、地域住民の社協への信頼感が、さらに高まる事を期待します。

災害時に最も役立つのは、地域内での普段から顔の見えるお付き合いです。そしてそれが、緊急時に人命を救うこともあります。そのためにも、我々はこの協定の締結を機により危機感を共有し、情報交換や訓練等を実施し、その意識を継続し続ける事が大切です。

今の時代はまさに地域の支えあい、助けあい、ふれあいが大事であり、社協は「お互いさま」の気持ちで隣近所が手を取り合う大切さをより一層啓発すべきと考えます。

社協の存在感や重要度を再認識していただける画期的な協定!

石川 清
(社会貢献活動企業推進協議会代表)



まず、今回の協定の締結により、社協という組織の存在感や重要度を、多くの方々に再認識していただけたと思います。このような県レベルでの災害支援協定は、画期的なものと言えるからです。この協定の最大のメリットは、やはりスピードでしょう。災害時、公的支援が届くまでには数日かかることもあります。その間も隣接する市町村が助け合えることで即応性のある支援が可能となるのではないのでしょうか。

そして今回の協定が、各社協間の繋がりはもちろん、その地域の企業までも巻き込んだ、相互支援の大きなネットワークを構築する第一歩となる事を期待しています。

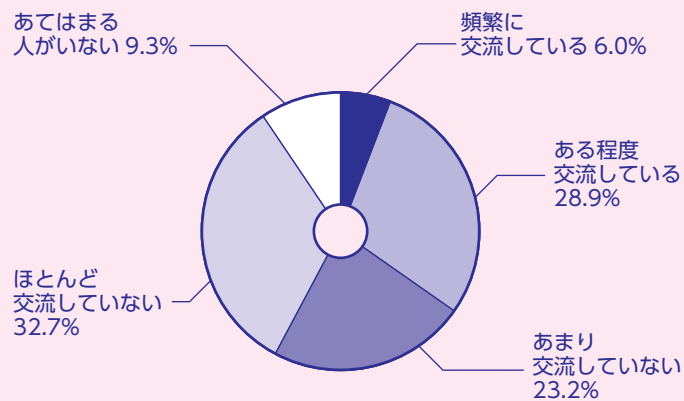
『地域のつながりと地域福祉に関する県民意識調査』の結果概要

昨年発生した所在不明の高齢者の問題は、人や社会との「つながり」を持たず、孤立する人々が増加した現代社会を象徴する事件として大きな社会問題となりました。

千葉県社会福祉協議会では、つながりの中でも「地域」に焦点を当て、「地域のつながり」や「地域における福祉課題・生活課題」等の実態を把握するため、県民意識調査を実施しました。今号では調査結果の主なポイントについてご紹介します。

地域のつながりについて

(1) 日常的な生活圏域における交流頻度

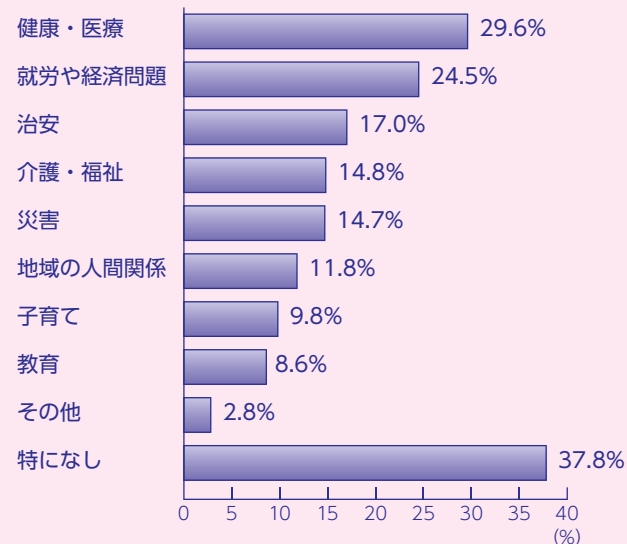


また、日常的な生活圏域よりも少し広い範囲における地域活動への参加状況については、「町内会・自治会等の地縁型地域活動」では 58.0%、「ボランティア・NPO 等のテーマ型地域活動」では 85.8%、「スポーツ・趣味・娯楽等のサークル型地域活動」では 74.7%の方が、それぞれ全く参加していないと回答しています。

なお、地域活動へ参加したことがある方に地域活動への参加を通して得たものを聞いたところ、①「いろいろな人とのつながりができた」(56.7%)、②「地域の仕組みや問題がわかった」(33.4%)、③「地域に対する貢献ができた」(32.8%)の順となっています。

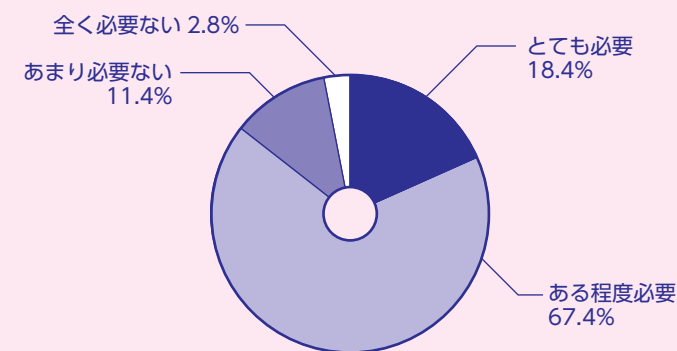
地域の福祉課題・生活課題について

(1) 普段の生活の中で困っていることや心配していること



また、普段の生活の中で困った場合の相談相手については、①「家族・親族」(67.7%)、②「知人・友人」(45.3%)となっていますが、一方で「どこに相談したらよいかわからない」と回答した方が 12.7%いました。

(2) 地域住民同士の支え合いや助け合い活動の必要性について



上記設問で「必要」と回答した方に、「地域の方々に手助けしてほしいこと」を聞いたところ、①「災害時の手助け」(63.7%)、②「安否確認の声かけ」(31.8%)、③「話し相手や悩みごとの相談相手」(19.2%)の順となっています。

一方、「必要ない」と回答した方にその理由を聞いたところ、①「自分だけの静かな暮らしを求めているから」(33.5%)、②「個人の自己責任で暮らすべきだから」(25.1%)、③「住民相互の協力関係に基づく活動に期待していないから」(17.4%)などの回答がありました。

千葉県社会福祉協議会では、今回の調査結果を踏まえ、地域のつながりを再構築するための具体的な方策について検討していきたいと考えています。(担当：政策調整班 ☎043-245-2344)

情報FLASH

公益信託 京葉銀行 ホームヘルパー助成基金

募集中

- 助成金額/全体で総額300万円の助成を予定。(1団体平均10万円前後の助成)。
- 応募期限/平成23年6月30日(木) 必着
- お問合せ・申請書提出先/
公益信託 京葉銀行 ホームヘルパー助成基金事務局
〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部
公益信託グループ 担当 渡辺
TEL(直通) 03-6250-3259

平成22年度 福祉のしごと合同説明会 in いちかわ

- 日 時/平成23年3月5日(土)
介護機器体験会 10時30分～12時(受付10時～)
個別就職面談会 13時～16時(受付12時30分～)
- 場 所/市川市勤労福祉センター分館
3階大会議室 他
(市川市南八幡5-20-3 JR本八幡駅南口より徒歩10分)
- 参加費/無料
- 対 象/社会福祉施設等への就職希望者、福祉・介護分野に興味のある方、学生
- 主催・お問合せ先/千葉県社会福祉協議会 千葉県福祉人材センター
TEL 043-248-1294
FAX 043-242-0774

子育てフェスティバル2011

- 日 時/平成23年2月27日(日) 10:00～15:00
- 場 所/ふれあい22(健康福祉会館)(千葉県松戸市五香西3-7-1)
- 参加費/無料
- 主 催/松戸子育てフェスティバル実行委員会
- 対 象/乳幼児・子育て中の保護者・妊婦
- 内 容/子育てに関する情報や遊びがいっぱいです。
- お問合せ先/松戸市社会福祉協議会 地域福祉推進センター
TEL 047-362-5963

社会福祉施設経営相談

- 日 時/各相談とも10:00～12:00で要予約
(相談日の11時までに電話でご予約下さい)
- 会計等相談
3月7日(月)・22日(火)・4月4日(月)・18日(月)・
5月9日(月)・23日(月)
- 労務等相談
3月2日(水)・16日(水)・4月6日(水)・20日(水)・
5月12日(木)・26日(木)
- 法律相談
3月9日(水)・23日(水)・4月13日(水)・27日(水)・
5月11日(水)・25日(水)
- 場 所/千葉県社会福祉センター 3階 経営相談室
- 相談料/無料
- 対 象/県内社会福祉施設の方
- お問合せ先/千葉県社会福祉協議会 福祉サービス事業部
福祉施設経営支援班
TEL 043-245-4450

安心を支えます

ボランティア活動保険

<http://www.fukushihoken.co.jp>

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

年間保険料 Aプラン...280円 Bプラン...420円 天災タイプも
あります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

お申込み、お問合せはあなたの地域の社会福祉協議会へ
社会福祉法人
全国社会福祉協議会
団体契約者

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

ボランティア行食用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティア活動に関する各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネージャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社



京葉銀行ホームヘルパー助成基金による研修風景 (2010年11月20日～12月12日)



R L C会のリーフレット

Q 現在、京葉銀行ではどのような社会貢献活動をしていますか？

A 地域金融機関として地域と共存することが使命と考え、次のような活動に取り組んでいます。

●京葉銀行ホームヘルパー助成基金

高齢社会における在宅福祉サービスの担い手であるホームヘルパーを支援するため、公益信託を設立し、毎年千葉県内のホームヘルパー事業に携わる団体へ助成金を贈呈するものです。この基金は平成5年2月に設立され、これまで18年間で223団体3,464万円を助成(うち平成22年度は13団体279万円)しています。助成対象事業の傾向として、基金設立当初は「活動を支援するための施設・設備等の整備」が多かったのですが、最近は「資質の向上を図るための各種研修事業」が多くなっています。23年度も募集しますので、県内のホームヘルパー事業を広く推進するためにもより多くの団体からの応募をお待ちしております。

詳しくは、情報フラッシュ(P.7)をご参照ください。

●R L C会 (結婚無料相談所)

昭和60年10月にお客様の要望から後継者問題等の改善を目的としてR L C会 (Rose Life Creation=バラ色の人生設計の略) を発足し、会員の結婚に関する情報の無料提供等により、結婚のお手伝いをさせていただいています。R L C会にはベテランのカウンセラーを配置して会員の相談に応じ、皆様から大きな信頼を得て順調な歩みをしています。これまで179組のカップルが誕生しています。

●芸術文化の振興活動

将来性のある若い演奏家の育成と芸術文化の振興を目的として(財)千葉県文化振興財団が主催する「若い芽のαコンサート」(毎年6月、千葉県文化会館大ホール)に協賛

しています。このコンサートは千葉県出身や在住の有望な若い演奏家にプロのオーケストラとの共演の場を設け、活躍のステップにしておもうという趣旨で開催されています。

これまでに24回、69人が公演し、その後プロとして世界の舞台上で活躍している演奏家も輩出しています。

Q 今後の社会貢献活動を推進するにあたっての方向性などを教えてください。

A 今後ますます社会や地域に貢献していかなければ企業として成り立たなくなるでしょう。地域社会のニーズには応えつつ、お互いが助け合える社会づくりの一役を担えるような活動ができればと思っています。また、本業である金融を通じた社会貢献についても今まで以上に推し進めていかなければならないと考えています。



若い芽のαコンサート

株式会社 京葉銀行

所在地:千葉市中央区富士見1-11-1 TEL:043-222-2121(代表) ホームページ <http://www.keiyobank.co.jp>